



グローバル探究ライフ

コンフォートゾーンから飛び出すことで、学校生活ではできない出会いや体験ができるのが留学。その経験者たちに、リアルな留学ライフと気持ちの変化について語ってもらうシリーズです！

File No.14



橋本 昂典さん (20歳)
奈良女子大学附属中等教育学校 (奈良・国立) 卒業

中学生の頃から海外で学ぶのが好きで、祖父の影響で日本の城に興味があったが、トビタテ!の応募での自己分析と留学経験により、古い建物を新しく活用する建築に興味があると感じる。現在は関西大学環境都市工学部建築学科で建築を学んでいる。

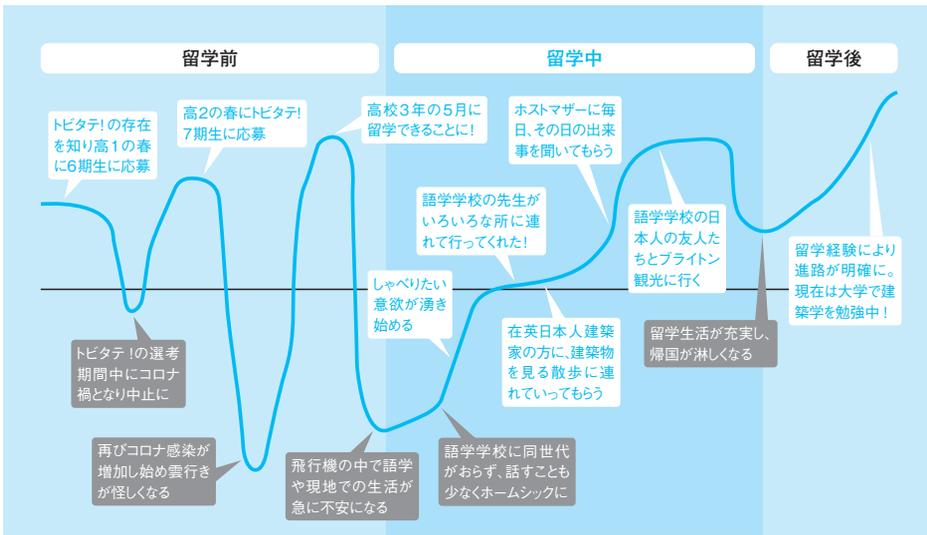
高3での留学や、留学後の勉強を先生方がバックアップ

最初のトビタテ！応募はコロナ禍で中止に。ようやく留学のチャンスが来たのは3年生の5月でした。休暇時期でもなく受験生でもありませんでしたが、留学というまたとない経験と現地での出会いへの期待を優先しました。

当時は進路については漠然としていましたが、トビタテ！の応募で自己分析するなかで、小学校時代に経験した「姫路城平成の大修理」のアートに関わる研究をするプログラムが印象深く、自分は建築が好きだと認識しました。渡航先でさまざまな建築物を見たいとロンドンへの留学を決めました。

留学中はおこなわれていた建築家の作品をはじめ、歴史的なものから現代のものまでたくさん建築を見学。その経験から興味が進路へと具体化していきました。

帰国後、休んでいた期間の勉強をフォローしてくれたり、海外大学への進学を相談したときに、建築を学びたいならまずは母国語で学んだ方がよいとアドバイスを頂くなど、先生たちのサポートに感謝しています。



DATA

- 【留学した年齢】17歳
- 【留学した国】イギリス
- 【留学期間】高校3年の5月から4週間
- 【留学内容】語学と建築を学ぶプログラム
- 【留学しようとおもったキッカケ】学校で「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」体験者の発表を見て自分も行ってみたいと思っ応募。
- *「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」(以下、文中では「トビタテ!」)とは文部科学省が官民協働で留学促進を展開するキャンペーンによる留学支援制度。

